

環境
大臣賞

中小企業区分

株式会社加藤建設

※事業者の情報は 2016 年 11 月時点

所在地	愛知県海部郡蟹江町蟹江新田下市場 19-1
業種	建設業
社員数	(単体)293 名
ウェブサイト	http://www.kato-kensetu.co.jp/

建設業が創る“環境人材” ～自然を守るためにできること～

目的

弊社は、愛知県海部郡に本社を置き、道路工事や河川整備など、地域に密着した公共工事を中心に事業を営んでおります。地域の利便性や災害の少ない街づくりを目指し、多岐に渡るインフラ整備に携わって参りましたが、社会的な風潮もあり、“建設業は自然破壊の元凶”と揶揄される事もありました。したがって、本活動では、これからの建設業が目指す“自然との共生”に向けた環境活動を推進する為、社員教育を実践する事としました。

概要

人間は自然からの恩恵を得ながら生活しており、“自然との共生”という概念は、現在の豊かな自然を継承し、より快適な生活を築き上げて行くためにも、絶対に不可欠なものです。

また、弊社独自の自然環境配慮活動は、社員のみならず愛知県下の建設業をはじめ、全国の建設会社で展開して行ける様、これからも先導していかねばならないと強く感じております。

したがって、人を優先としたインフラ整備ではなく、人と自然が共生できるインフラ整備を進めていくために、弊社は三つの視点から人材育成を行なっています。

- ①自然を守るための知識習得
- ②自然を守るための実践教育
- ③自然を守る気持ちを育む取組み

これらを進めることで、環境人材を育むことだけでなく、建設業界のイメージアップならびに自然に優しいインフラ整備のあり方に繋がればと思います。

特徴・アピールポイント

弊社は建設業でも優れた土木技術者が多い反面、自然環境や生態学とは無縁で、土木や特殊技術に特化した社員ばかりでした。したがって、①基礎知識習得の課題解決に向け、「ビオトープ管理士」の資格取得に重点を置きました。

その結果、現在では、社員の意識も向上し5年という歳月を経て、資格取得者は全社員272名中112名が保有(昨年度実績)しており、今後も積極的な取得に尽力して行きたいと考えております。

また、②実践教育では、エコミーティングを主軸に北本自然観察公園(指定管理者:公益財団法人埼玉県生態系保護協会)でのフィールド研修や、同協会がマネジメントしている自然再生事業地での勉強会などを積極的に実施しております。最近では、ビオトープ管理士資格取得者100名の達成を記念し、岐阜県各務原市にあります「自然環境楽園」にて、河川内の生きもの探し体験や、地域の自然環境の魅力を伝えるための自然観察会も実施し、更なる意識向上に努めました。

フィールド研修(北本自然観察公園)



自然観察会(蟹江川)



関連・補足情報

- カトケンの“わくわく”プロジェクト

<http://www.kato-kensetu.co.jp/wakuwaku/>

- エコミーティング

<http://www.kato-kensetu.co.jp/company/environment/site/>

- 自然を学ぶ社内研修

<http://www.kato-kensetu.co.jp/company/activity/naturetraning.html>

- 日本生態系協会“自然研修”

<http://www.kato-kensetu.co.jp/company/activity/seitaikei.html>

● 自然観察教室

http://www.kato-kensetu.co.jp/company/activity/kansatsu_kyositsu.html

審査委員からの講評

土木業からの脱皮を目指し、「自然と共生した建設業」という世界の潮流を踏まえた会社の方針を立て、ビオトープ管理士取得制度を設けて全社員に取得させる体制をとっている点は、本業に根差した取り組みであり特に先進的である。272人の社員のうち既に112人がビオトープ管理士の資格を取得しており、2016年度は、80人以上が取得を目指すという。ビオトープ管理士を取得した社員へのステップアップ研修や、現場での実地研修も充実しており高く評価したい。

また、社内横断型エコミーティングでは、社員が現場を視察しながらアイデアを出したり、自然環境配慮事例を広報するエコ通信を発行したりするなど、社内の環境意識の醸成に取り組んでいる点も、高い意欲を感じる。

さらに、親子向け自然観察会の実施や「尾張西部生態系ネットワーク協議会」の事務局兼幹事も引き受けるなど、地域と連携して信頼関係を築いている点も評価できる。

分かりやすい制度で会社の進むべき方向性を示した人材育成の取り組みは、他の中小企業にも参考になるだろう。